

臨床研究の実施に関する情報公開

掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センターでは、臨床研究倫理審査委員会および病院長の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究課題名	非侵襲的圧容量曲線を用いた左脚エリアペーシングと右室ペーシングの血行力学的評価 —Non-invasive Hemodynamic Evaluation of Left Bundle Area Pacing and Right Ventricular Pacing Using Pressure-Volume Curves—
目的及び方法 研究対象者	【目的】従来の電気信号を出す方法でペースメーカを挿入された方（右室ペーシング）と、現在新たにガイドラインで推奨された方法（刺激伝導系を介した左脚ペーシング）でペースメーカを挿入された方の血液の流れやそれに関係する力の違いについて調べる事を目的としています。【方法】2021年8月から2024年12月までに当施設で永久ペースメーカ植込み術を受けられた方の診療録より情報を収集し、電気刺激の方法で2つのグループに分け、診療情報から得られたデータを比較検討します。
利用する情報の項目と取得の方法	下記の情報を対象患者さまの診療録より収集し利用します。 患者背景、合併症、予後 血液検査、胸部レントゲン、心電図、心エコー、ペースメーカ植込み状況、心臓 MRI、血圧
研究実施期間	実施期間：研究機関の長による実施許可日～2028年12月まで 対象期間：2021年8月～2024年12月
研究機関の名称及びその長の氏名	研究機関名：中東遠総合医療センター 機関の長：院長 宮地正彦
研究責任者	中東遠総合医療センター 循環器内科 井上直也
利用する者の範囲	本研究に関わる研究者
情報の管理者	院長 宮地正彦
研究の拒否について	患者さま又は患者さまの代理の方が、この研究のために情報が使用されることにご了承いただけない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。除外の申し出により不利益を被ることは一切ありません。ただし、すでにデータ化された場合は除外できない場合がございますので、ご了承ください。
個人情報保護について	本研究に関わる関係者は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また研究関係者は、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を正当な理由なく漏らしません。研究関係者がその職を退いた後も同様とします。
問い合わせ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター 循環器内科 井上直也 電話 0537-21-5555（代表）平日 9：00 ～ 16：00